



PTA 広報

みやぎく

発行者 千葉県立大網高等学校 PTA 〒299-3251 大網白里市大網 435-1



知る・伝える・つなぐ活動へ

PTA 会長 福島 宏史

盛夏の候、保護者の皆様にはますますご健勝のことと、お慶び申し上げます。

今年度、会長として大役を任せられました。福島です。日頃の PTA 活動のご理解、ご協力、誠にありがとうございます。前中本会長をはじめ、諸先輩方の意思を引き継ぎ、精一杯、務めさせていただきます。

さて、1年生におかれましては入学して、はや4ヶ月が過ぎようとしています。そろそろ学校での生活にも慣れ、新しい友人との会話にも弾みが出ている頃と思われまふ。

2年生においては、この1年間の経験を通して将来に対する輪郭が見え始めた頃と思います。3年生においては、高校生活最後の夏休みが始まります。進学するひと、就職するひと、それぞれが思い描く未来のために、最大限努力する夏であってほしいと願っています。

さて、PTA の活動について簡単に触れておきます。6月の総会に始まり、県高 P 連定期総会に出席し、他校の PTA の方のお話を聞くことができました。また専門委員会では「自転車安全指導」、研修では「校内研修として中正農場

見学をはじめ、食工棟、実験棟など、普段見られない学校生活の一部をご覧になれたかと思ひます。

また、7月には関東 P 大会がありました。そして、8月には静岡県で開催される P 全国大会が行われます。10月に第2回目の常任委員会、そして11月には「みやぎく祭」が行われます。

俗にいう文化祭です。我々 P 役員も生徒たちが丹精込めて育てた野菜で、「網高なべ豚汁」を作りまふ。

「みやぎく」の意味は旧地名からと聞いております。広報誌の名の由来となります。

PTA 活動において、昨今ニュースやネットで、いろいろな意見を拝見する機会が増えています。時代がかわり、情報伝達手段がよくなり時代にあった活動が求められています。近年の生活スタイルや価値観を考慮しつつ、合理性だけではない「人付き合いの学ぶ場」として子供たちにアピール出来たらと考えています。知る・伝える・つなぐ活動をしていきたいと思ひます。

これから暑い日が続きますが、健康に注意しお互いに暑い夏を乗り切りましよう！



親子のコミュニケーション

校長 岩崎 章

大網高等学校は今年4月に開校10周年を迎えました。この節目の年に入学した1年生は、新たな環境への戸惑いも消え、先生や友達との出会いの中で、充実した高校生活に向け頑張っています。また、保護者の皆様には、本校の教育活動を理解し、応援いただいていることに感謝申し上げます。

さて、今回はこの紙面をお借りして親子間のコミュニケーションについて考えてみたいと思ひます。

進研ゼミで有名なベネッセコーポレーションの調査によると、親子間のコミュニケーションは中学時期に減少する傾向があり、高校入学後も改善されなま、その状況を受け入れている家庭の割合が高いことが指摘されています。

実際のデータでは、親子間のコミュニケーションが良好とはいえないと回答した高校生の割合は約50%です。その中には親は良好だと思っている場合も含まれます。改めて二人のうち一人は良好とはいえないと考えている事実を自覚する必要があります。

ところで親子間のコミュニケーションは生徒の成長にどのような影響をあたえるのでしょうか。有名な話では、学習成績と親子間のコミュニケーションは正の相関関係があり、コミュニケーションが多くなる生徒は学習成績が高いというデータが示されています。また、生徒の進路選択では、親子間のコミュニケーションの多い生徒に比べ、少ない生徒のほうが進路先をなかなか決めない傾向もあるようです。

社会性の育成という視点でみると、親子間のコミュニケーションの多い生徒は自己肯定感が高く、社会への視野や興味関心の幅が広く、異なる価値観を持った人とも話せることに対して、少ない生徒は同じ価値観を持った仲間と話す機会を多く望み、社会性も育ちにくいといわれますが、独立心は育ちやすい場合もあるようです。

親子間のコミュニケーションは子供の成長にとって大切な要因のひとつと私は考えます。日々の生活がパターン化された時期に、今まで減ってしまった親子間のコミュニケーションを回復させることは容易なことではないでしょう。しかし、生徒にとって一番の理解者である親として、子供のために一肌脱ぐ覚悟が必要ではないでしょうか。

自己肯定感の創造

生徒指導主事 大森 淳一

人間教育の大切な目標のひとつに「自己肯定感の創出」があります。「自分はかけがえのない大切な存在だ」と自ら感じられるようにならねることを指します。自己肯定感を創出した子どもは、前向きに力強く人生を送っていくための基礎を獲得したことになります。

では自己肯定感とは、どのようにすれば育つていくのでしょうか。それは、幼い頃から積み上げられた「基本的生活習慣の確立」によって育つのであると教育社会学では説明されています。



朝は決めた時間に自分で起床し、朝食をしっかりと摂り、身支度を整え、決められた時間までに学校へ行き、授業に取り込む。

帰宅後は家事の手伝いも少しは行い、宿題を済ませ、早めの夕食を摂り、風呂に入り、歯磨きをして夜更かしをせずに就寝時間を確保し、翌日に備える。

こんな当たり前な日々の行動ですが、お子様はどれだけ積み上げられているでしょうか。

基本生活習慣を確立させ、自己肯定感の溢れる子どもに育てていきましょう。



就活について

進路指導主事 高橋 洋

高校を卒業して職に就くことを考えている諸君にとって、どのような仕事に就くかで諸君の将来の可能性の広がり方が大きく変わります。自分にとって長く続けることができる仕事は何か？をしっかりと考えてください。また、自分に合った仕事を探すことも大切ですが、自分がどのような仕事に合わせる事が出来るかを考えることも大切です。

そのためには、自分の得意なこと好きなこと、性格は飽きっぽいのか我慢強いのか、細かいのか大雑把なのか等自己分析を行うことです。また、保護者の方や先輩、先生方から情報を集めてください。そこから得た情報の質と量を大切にして企業選びをしてください。



企業が決まったら試験対策です。企業の採用担当者の方からの多くの意見として「コミュニケーション能力のある生徒が望ましい」と伺います。できるだけ多くの大人と正しい言葉遣いで会話を持ってください。

3年生は夏休みを活用して面接力の向上を図ってください。1・2年生は基礎学力の定着に努力し、来たる就活に向けて準備をしてください。



夏休みの過ごし方、2学期にむけて

1学年主任 久間 浩史



夏休みは普段の日比べ、時間や気持ちに余裕がある時だと思えます。1学期を振り返り、学習面、生活面の反省をしてください。

また、子どもたちは思春期にあり多感な年頃です。夏休みを利用して話し合いをもち、お子様の心を理解するとともに正しい方向へ導いてください。

1年生にとっては高校に入学して初めての夏休みになります。部活動に入学している人は、部活動に集中して打ち込める時だと思えます。是非この期間を利用して自分の力を伸ばしてください。また、部活動に入学していない人も自分の特技を磨いたり、地域のボランティア活動に参加するなど様々な事に挑戦し、充実した夏休みを過ごしてください。

夏休み中は生活が不規則になり、昼夜が逆転しがちになります。規則正しい生活を心がけ、平常時と同様の生活を送るよう心がけてください。2学期に全員の元気な顔を見ることを楽しみにしています。

夏休み中の生活及び2学期に向けて

2学年主任 岩下 祐輔



2学年は「責任ある行動と自己表現のできる人材の育成」を学年目標として日々の教育活動に取り組んでいます。責任ある行動とは、基本的生活習慣を確立する規則やルールを守る、学習に対して努力することです。また、自己表現のできる人材とは、部活や学校行事に積極的に参加し主体的に行動することです。この学年目標を常に心掛けて学校生活を送ってほしいと思います。

夏休みは起床や就寝時間が乱れることのないよう注意し、部活動や農業科の実習、資格取得に力を入れ充実した長期休業になることを期待します。1学期の学習面や生活面をしっかりと振り返り、努力が足りなかったところは2学期に改善できるように取り組んでほしいと思います。

2学期には修学旅行や文化祭など大きな学校行事があります。修学旅行はクラス別行動や班別行動の準備を綿密に行ってください。クラスの仲間と協力し合い、集団行動のマナーやルールを守るなど個々の役割を責任持って果たして有意義な旅行にしましょう。



2学期には修学旅行や文化祭など大きな学校行事があります。修学旅行はクラス別行動や班別行動の準備を綿密に行ってください。クラスの仲間と協力し合い、集団行動のマナーやルールを守るなど個々の役割を責任持って果たして有意義な旅行にしましょう。



夏休み中の生活及び2学期に向けて

3学年主任 功刀 敬士



いよいよ高校生活最後の夏休みを迎えます。就職希望者は会社見学があります。この見学から試験が始まっていると思ってください。企業の方たちは、あなたたちの一挙手一投足を観察しています。いかに印象よく、やる気を見せるかです。以前、私が担任をした生徒でジョイフル本田に就職した生徒がいました。彼女は面接の時、ジョイフル本田とケイヨーD2の比較を自分で調べていきました。誰からの指示があったわけでもなく、自主的に動ける生徒は強いと感じました。

進学希望者は、すでに体験入学、学校見学を済ませていると思いますが、もし、まだでしたら必ずこの夏休みに行ってください。どういう授業を行っているのか、どういうところに就職しているのか、就職率などを自分の目で確かめて下さい。また、高校よりも出欠に関しても厳しくなりますので、欠席・遅刻の多い生徒はもう一度気持ちを引き締め直して生活して下さい。





7月 20日	8日	7日	20日	16日	7日	3日	21日	7日	4月
広報誌みやざく発行 (神奈川)②	関東高P連 (神奈川)①	関東高P連	校内視察研修	県高P連定期総会 PTA自転車指導	PTA総会 第1回常任委員会	第4回常任委員会	入学式		



一学期の主なPTA行事



視察研修

3月 8日	1月 11日	12月 1日	11月 18日	11月 17日	10月 20日	8月 24日
卒業式	県P連研修会 PTA自転車指導 第3回常任委員会	PTA視察研修	みやざく祭(準備) みやざく祭(本番)	みやざく祭(準備) みやざく祭(本番)	JR列車指導 第2回常任委員会	全国高P連(静岡)① 全国高P連(静岡)②



第66回全国高等学校PTA連合会大会 千葉大会
平成28年8月25日(木)~26日(金)
主催:一般社団法人 全国高等学校PTA連合会

みやざく祭

夏期休暇以降の主な行事(予定)

校内視察研修

研修委員長

6月20日、校内研修と題して、中正農場と校内施設へ今年も、43名の保護者の方々と参加しました。過去の最多の参加者に心より感謝申し上げます。今年は参加人数が多いため、2班に分かれ見学を行い、最初の班は生物工学棟でマウスの解剖にタイムングよく、立ち会うことができました。食品工業棟ではクッキーやジャム、味噌の製造工程の見学し、普段触れることがない生徒たちの実習風景に触れることができました。



中正農場では新鮮な野菜、食品工業棟ではジャムの販売があり、参加



された保護者の方々にはたくさん購入されておりました。購入されたものは、全て生徒たちが作ったものです。美味しくいただく事と思います。販売をして下さった生徒の皆さん及び先生方、ありがとうございます。次回もたくさんの方々の参加を心より、お待ちしております。

自転車安全指導

指導委員長

本年度第1回目の自転車指導を6月16日に行いました。当日、参加下さった皆様、ありがとうございます。踏切に近い側、道路に面した側、自転車置き場の3箇所に分かれ、終了後に踏切側は進路方向に大きな木があり視界が悪い、道路に面した側は一時停止せずに通行する車が多いため危険である、などの意見が上がりました。それらを踏まえ学校側とも協議していきたいと考えております。ほかにもイヤフォンを装着したままの生徒も見られ、通学に自転車を使う生徒に対し家庭でも指導していただければと思います。



最後になりますが、新年度から指導員になられた方も従前の方も、1年間宜しくお願い致します。



部活動

運動部

- バスケットボール
- サッカー
- ソフトテニス
- 柔道
- 硬式野球
- 剣道
- バレーボール
- 卓球
- 陸上競技



文化部

- 棋道
- JRC
- 吹奏楽
- 書道
- 演劇
- 美術
- 茶道
- 文化芸術
- 生物
- 家庭科
- 写真



農業クラブ

- 食品化学
- 組織培養
- 実験動物
- 植物工場
- 愛玩動物
- 酪農
- 草花
- 果樹
- 野菜
- 農業情報処理
- 農業経済
- 簿記
- 食品製造
- 微生物基礎



平成 29 年度
PTA 常任委員

網高のホームページは
こちらのQRコードで
ご覧になれます



皆様のアクセスお待ち
しています

編集後記

第11回「みやざく」が予定通り発行でき、ひと安心できました。一学期は行事が多く、タイトなスケジュールだったので協力頂いた皆さんも大変だったと思います。広報専門の部署があると良いなあ、と思う今日この頃。第12号も会員の皆様が楽しみによう頑張ります。

(編集担当一同)